

「週刊ダイヤモンド」GW 合併特大号に東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県の自立型有料老人ホームランキングベスト 72 ホームが発表され、ラビドール御宿は、千葉県内で1位となり、全体でも合計得点 97 点の湯河原ゆうゆうの里に次いで 95 点の2位になりました。

今回、ダイヤモンド社が基準としたランキング評価の4項目は、これから自立型の高齢者施設を選ぶ上で読者の皆様が参考になると考え、入居契約重要事項説明書＝「重説」を基に解りやすく説明します。

① 入居率

「重説」の入居者の属性欄に『入居率』が表示されています。一般居室数に対し、入居契約済居室の比率を表しており、80%以上は確保したい数値です。このページには、入居者の状況も公表されており、自立者数と要支援者＋要介護者の比率も確認して下さい。

また、入居期間別に記載されている6ヶ月未満及び6ヶ月以上1年未満の合計数値は、1年間の新規契約者数であり、新型コロナウイルス下においても確実に新しい入居者が入居していることを判断できます。

② 看護・介護体制の充実度

看護職員及び介護職員一人当たりの特定施設入居者生活介護の利用者数で、「重説」では、『特定施設入居者生活介護等の提供体制』で職員配置比率がa.1.5:1以上。 b.2:1以上。 c.2.5:1以上。 d.3:1以上の4分類になっており、下段に実際の配置比率が記載されます。

③ ベテラン職員比率

経験年数 10年以上の介護職員の割合で、「重説」では『職員の状況』の中に、業務に従事した経験年数に応じた職員の人数で常勤介護職員＋非常勤介護職員の合計数で判定できます。

④ 事業経験

事業開始日からの期間で「重説」では、『有料老人ホーム事業の概要』に記載されているスタート日から現在までの年数が経験期間となります。有料老人ホームの生活・介護・医療サポートは、マニュアル＋経験と言われています。

ご自身のセカンドライフをどこで暮らすのかを考えた時、豪華なシャンデリアやふかふかな絨毯は素敵ですが、自分も含めご家族の安心を最優先した場合は、上記の4項目が重要なポイントであり、必ず入居前にチェックをお勧めします。

令和4年5月吉日